

町報 てんのう

発行・秋田県天王町役場 TEL (018878) 2211~4
編集・企画室 印刷・一日市印刷 電話 (018875) 2038

町のうごき

本籍数	4,790
本籍人口	15,156
世帯数	3,850 (3,842)
住民登録人口	14,202 (14,179)
内 { 男	6,842
女	7,360

3月1日現在
()内は2月1日現在



▲議案を審議する議員(右側)と説明にあたる町当局

3月定例会

三月定例町議会が十一日に開かれ、会期を二十八日までの十八日間と決め、四十八年度の一般会計、簡易水道の補正予算案などを審議したあと、町長の施政方針説明(二、三面に掲載)が行われた。

十三日は一般質問、十四日からは再び議案審議に入り、四十九年度の一般会計、特別会計など、今回提出された二十一案件を原案どおり可決して二十八日に閉会した。

48年度最終予算額

九億七、〇五十一万二千元

49年度予算も決まる

主なものは次のとおり
一般会計最終補正
三百十二万円
を減額

今回で、四十八年度の一般会計の最終補正となるが、三百十二万三千円が減額され、最終予算総額は九億七千五百一十一万一千円となった。

減額されたものは、持谷地区の畑地総合整備事業の公有財産購入費三百八十一万三千円、これに伴う補償費が百二十九万円、細谷遊園地の整備工事費百三十八万円などが主なもの。

また、追加されたものは、畑地総合整備事業の工事請負費四百十五万円、羽立分館建設費の補助金二百万円など。

水道も減額

簡易水道事業特別会計予算も工事監督料など十一万円が減額され、最終予算総額は一千五百

四万一千円となった。

宅造会計は

一億八千

七百万円

町営宅地造成事業特別会計予算も四百五十六万六千円の減額で、総額一億八千七百十三万四千円となった。

|| 名誉町民 ||

年金額六万円に

町表彰条例の一部が改正され、名誉町民の終身年金額が、これまで三万円であったのが六万円に引き上げられた。

職員定数

町長部局三人増

事務量の増大とともに、職員の事務の責任体制と身分の安定をはかるため、町長部局の一般補助職員の定数が三人増となり六十六人になった。

また、教育委員会の教育関係の職員の定数も一人増え、十七人となった。

保育所設置条例

新たに

湖岸保育所

大崎、穂丈谷地の両へき地保育所を統合する湖岸地区福祉センター用地に完成した「湖岸保育所」が、町立保育所設置条例に新たに加えられた。

同保育所の定員は百二十名で、保育士六名、この他調理士、バスの運転手なども配置される。これに伴い、へき地保育所設置条例は廃止された。

助産費が

二万円に

国民健康保険条例の一部が改正され、被保険者が出産したときの助産費が一万円から二万円にアップされた。

また、被保険者が死亡したときの葬祭費も引き上げられ、二万円から五万円になった。

これは四月一日からです。

固資産

一期の納期

が五月に

町税条例の一部が改正され、固定資産税の第一期の納期が四十九年度に限り、五月一日から五月三十一日までとなった。

これは、小規模住宅用地の税負担軽減がはかれる見通しとなったため、住宅用地の認定と事務が増大し、四月課税が困難になったもの。

つえ、かさは禁止

|| 議場への入場者 ||

町議会の会議規則の一部が改正され、休会、選挙、規律などの条項が改められた。

その規律の中でいままでは、議場に入るときは見苦しくない服装をしなければならぬといわれていたのが、今回の改正で「議場に入る者は、帽子、外とう、えり巻、つえ、かさ、写真機および録音機の類を着用し、または携帯してはならない。ただし、病氣その他の理由により議長の許可を得たときはこの限りでない」に改められ、具体的に明文化された。

大規模工業開発 ことしも先進地を視察

第二の産業の振興についてありますが、本町の農業は稲作中心の農家が主であり、農業振興上からも、農業振興地域の指定については、農家の意向を尊重するとともに、関係各位とも協議を重ね、慎重にその決定手続を進めていく段階であります。また、昭和四十八年度をもって、単休耕奨励補助金も打ち切られることとなり、耕地の荒廃を防止し、生産性の向上の必要があるものと考え、多少理論的には矛盾もあるかも知れませんが、休田の覆元費についても助成をいたすことにしました。

農業は流通機構、価格保証制度の確立、安定作目の選定等、未解決の問題が多く残されており、依然として厳しいものがあり、その体質改善の必要性を認められ、論議されながらも遅々として進まぬ現状であります。私も過去九年間、町政を担当し本町において本質的にいけば変わらなかつたのは農業であり、もともと変わったのは人の心であると痛感しておりますが、町においても、農業対策を考えながらも、なかなかその解決策を見出せないのが現状であります。限られた財政の下における農業の振興策については、議員並びに町民各位におきましても

本町の土地条件、立地条件から農家の所得向上につながる具体的対策、作目等、良いアイデアがございましたら、ぜひご指示ご協力の程を心からお願ひ申し上げる次第です。

町としても、決して責任を回避するものではなく、高能率農業と農業生産、生活の合理化の推進については、農家自らとともに真剣に考え、努力し、その解決のため懸命の努力をいたす覚悟には変わらぬ決意をもってまいります。

また、国県が計画する秋田湾地区大規模工業開発も目下調査中であり、本町は、この開発計画には基本的には賛成でありませんが、無条件に賛成するものではないことは、町議会並びに町政懇談会等において、町民各位に説明しているとおりであります。

県では、近く基本計画の作製に着手されることになり、この計画は、将来の町づくりに大きな影響をもたらすものであり、これにいかに対処するかは本町の重要課題のひとつであり、公害の防止、自然環境の保全、生活環境の整備など幾多の問題があり、住民の意志の反映と積極的な参加による体制強化と知識をうるため、昨年に引き続き先進地の視察を実施することとし、その必要経費を計上いたしました。

また、中小企業対策として、金融引縮下にある現状からして当面、金融の円滑化をはかるため、特別融資制度の寄託金を継続するとともに、商工会の指導強化を期待し、商工振興の一助として、町商工会に対し、一部補助の増額をいたすことにしました。

なお、天王中学校については本年度公開研究指定校として、それに要する諸経費を予算化したしております。

町青年会に対しましては、その基金として百五十万円を前年度に引き続き助成いたしたいと存じます。

公民館関係については、分館活動の充実をはかるため、その運営費の増額助成と結婚式用備品の整備をはかるため、それに

要する経費を計上いたしております。

青年会、婦人会活動の拡充強化と、より一層の質的向上を願ひ、連合青年会、婦人会に対する助成を増額いたしました。

町民運動会は、従来、町体育協会に対する補助金交付により開催してまいりましたが、今年度からは、各種団体の後援を得て、町が主催することにいたしたいと考えております。

次に、昭和四十九年度天王町町営宅地造成事業特別会計当初予算額は、歳入歳出とも八千四百二十千円となり、前年度に比べ、一億一千二百九十九万八千円の減となっております。

本事業は、発足後まだ日は浅く、その事業実施期間も冬季にあたり、例年になく豪雪のためその事業の一部は繰越しせざるを得ない実情となりました。事業規模も、一部土地買収不能のため、若干の縮小を見ましたが、事業本来の計画には大きな支障もなく、工事の完成を七月頃と見込みながら作業を推進しているところであります。

本年度は、工事完成とともに新たに売却の段階に入ることになりますので、本事業の主旨、内容の周知に意を用い、議会とも充分ご協議の上、計画を進めてまいりたいと考えておりますので、議員各位のご協力を切望する次第であります。

追分小にプール建設

町民運動会は町主催で

第三に教育の充実と環境整備について申し上げます。

「町づくりは人づくりであり」をモットーに、鋭意教育の刷新と育成に努力してまいります。

また、最近強く叫ばれております生涯教育の出発点は、幼児教育にあると私は確信し、全県一を誇る幼児教育の充実を始め、学校教育と社会教育の一環とした体系づくりと環境整備の推進をはかると同時に、学校および社会教育を通じて、各々が常に自己修養と自己反省を怠ることなく生涯を通じて、心豊かな人間に成長すべく努力し、心なげかと自覚こそ、もっとも大切なこととあり、現代教育に課せられた最大の使命であり、課題でもあると

考えております。

そのための学校および公民館における教育、学習の充実と設備の整備をはかることが緊要であることは申すまでもありません。

昭和三十九年度国民健康保険事業特別会計当初予算額は、歳入歳出とも二億四千三百七十七万七千円となり、前年度に比べ五千五百一十三千円の増となっております。

療養給付費は、医療費の値上げ等により、逐年増加の傾向にあり、これに伴い、被保険者の負担の増大が憂慮されるのであります。幸い、四十八年度における国の財政調整交付金その他国庫負担金、補助金の増額により、四十九年度への繰越金が相当見込まれましたので、四十九年度は厳しい財政事情が予想されますが、保険税はこれを

昭和三十九年度簡易水道事業特別会計当初予算額は、歳入歳出とも五百一十一万四千円となる

最後に、昨年の町長選挙に際し、全町民から暖かいご支持と信頼と期待を寄せられ、無競争にて三たび町長の座につかせていただきました。

最近の社会情勢や経済情勢は激動極まりなく、誠に厳しいものがあり、己れの任務の重大さを考えるとき、身の引き締まる思いでいっぱいであり、

地の利を占め、将来無限に発

清潔な町政を

確立

① 清潔で明るく豊かな町政の

② 公私混同しない

③ 誠心誠意町政にあたり、町民から人的信頼を得る

この三つを常に心に銘記し、

初心忘れることなく、時代の流れに遅れず、現実の問題と将来の展望を誤らぬよう、懸命の努力をいたし、町民の期待にこたえるべくがんばる覚悟です。

以上、所信の一端をのべ、議会並びに町民各位のご理解とご協力を衷心よりお願い申し上げます。説明にかえる次第です。

この意味において、従来とも学校に於ける教育環境の整備につとめてまいったのであります。が、四十九年度においては、天王小学校と出戸小学校関係ではそれぞれグラウンドの整備、東湖小学校では、音楽室および体育館の照明工事を、追分小学校ではプールの建設および通学道路の取り付け工事の経費を計上いたしました。この他、一般備品については、年次計画に就いて児童の机、椅子を含め相当額計上いたしました。

49年度

一般会計予算の内訳

単位千円
△は減額

歳入 歳出

款 項	本年度	前年度	比較	款 項	本年度	前年度	比較
1. 町 税	99,303	89,072	10,231	1. 議 会 費	22,651	18,300	4,351
1. 町 民 税	30,793	22,540	8,253	1. 議 会 費	22,651	18,300	4,351
2. 固定資産税	40,595	40,262	333	2. 総 務 費	103,036	75,334	27,702
3. 軽自動車税	3,686	3,580	106	1. 総務管理費	57,290	49,882	7,408
4. 町たばこ消費税	15,199	14,995	204	2. 徴 税 費	15,709	13,439	2,270
5. 電気ガス税	8,337	7,694	643	3. 戸 籍 住 民 費	5,982	4,620	1,362
6. 木材引取税	1	1	0	3. 基本台帳費			
7. 特別土地保有税	692	0	692	4. 選 挙 費	4,609	2,311	2,298
2. 地方譲与税	7,400	4,500	2,900	5. 統計調査費	2,317	971	1,346
1. 自動車重量税	7,400	4,500	2,900	6. 監査委員費	144	133	11
3. 自動車取得税金交付金	7,500	6,300	1,200	7. 交通安全対策費	1,879	1,088	791
1. 自動車取得税金交付金	7,500	6,300	1,200	8. 企 画 費	15,106	2,890	12,216
4. 地方交付税	356,026	247,282	108,744	3. 民 生 費	107,022	70,016	37,006
1. 地方交付税	356,026	247,282	108,744	1. 社会福祉費	36,839	20,019	16,820
5. 交通安全対策特別交付金	834	725	109	2. 児童福祉費	64,536	44,935	19,601
1. 交通安全対策特別交付金	834	725	109	3. 国民年金事務費	5,646	5,061	585
6. 分担金、負担金	51,544	50,810	734	4. 災害救助費	1	1	0
1. 分 担 金	51,544	50,810	734	4. 衛 生 費	18,662	13,904	4,758
7. 使用料、手数料	13,667	9,931	3,736	1. 保健衛生費	11,369	8,203	3,166
1. 使 用 料	12,166	8,869	3,297	2. 清 掃 費	7,293	5,701	1,592
2. 手 数 料	1,501	1,062	439	5. 労 働 費	539	544	△ 5
8. 国庫支出金	86,381	28,536	57,845	1. 労 働 諸 費	539	544	△ 5
1. 国庫負担金	44,946	24,864	20,082	6. 農林水産業費	124,118	141,274	△17,156
2. 国庫補助金	38,578	1,002	37,576	1. 農 業 費	124,083	141,230	△17,147
3. 国委託金	2,857	2,670	187	2. 水 産 業 費	35	44	△ 9
9. 県支出金	63,859	68,942	△ 5,083	7. 商 工 費	3,643	3,593	50
1. 県負担金	7,705	4,252	3,453	1. 商 工 費	3,643	3,593	50
2. 県補助金	50,854	62,391	△11,537	8. 土 木 費	128,966	54,745	74,221
3. 県委託金	5,300	2,299	3,001	1. 土木管理費	6,801	4,983	1,818
10. 財産収入	541	504	37	2. 道路橋梁費	29,696	47,092	△17,396
1. 財産運用収入	217	105	112	3. 住 宅 費	88,332	1,130	87,202
2. 財産売却収入	324	399	△ 75	4. 都市計画費	4,137	1,540	2,597
繰越金	0	1	△ 1	9. 消 防 費	48,200	13,209	34,991
繰越金	0	1	△ 1	1. 消 防 費	48,200	13,209	34,991
11. 諸収入	5,791	5,705	86	10. 教 育 費	118,745	88,923	29,822
1. 延滞金、加算金料	3	3	0	1. 教育総務費	15,134	13,528	1,606
2. 町預金利子	800	800	0	2. 天王小学校費	16,347	13,664	2,683
3. 寄託金元利収入	3,075	3,075	0	3. 出戸小学校費	7,779	5,088	2,691
4. 雑 入	1,913	1,827	86	4. 東湖小学校費	5,524	4,806	718
12. 町債	41,200	15,000	26,200	5. 追分小学校費	25,766	5,077	20,689
1. 町 債	41,200	15,000	26,200	6. 天王中学校費	12,066	12,101	△ 35
歳入合計	734,046	527,308	206,738	7. 天王幼稚園費	4,962	4,224	738
				8. 出戸幼稚園費	4,631	6,614	△ 1,983
				9. 学校給食費	8,630	6,855	1,775
				10. 社会教育費	15,773	14,978	795
				11. 保健体育費	2,133	1,988	145
				11. 公債費	57,964	46,966	10,998
				1. 公債費	57,964	46,966	10,998
				12. 予備費	500	500	0
				1. 予備費	500	500	0
				歳出合計	734,046	527,308	206,738

当初予算決まる

七億三千四百万円

三月十五日から各常任委員会で審議していた昭和四十九年度の子算が、二十八日の本会議で一般会計、特別会計とも原案どおり可決した。

一般会計は、七億三千四百四十六千円で、前年度当初に比べ二億六千七百七十三万八千円の増となった。

千三百七十四万七千円で、前年度当初より五千五百一万三千円の増、簡易水道事業は五百一十一万四千円で、八百四十六万三千円の減、また、昨年度新たに特別会計に組み入れられた町営宅地造成事業も八千四百二十万二千円で、前年度より一億一千二百九万八千円の減となっている。

49年度の主な事業

事業名	事業費(千円)	内容
生活環境		
街灯新設事業	2,750	50灯分
消防施設整備事業	4,530	防火貯水そう5基
追分児童公園整備事業	3,957	噴水施設等
交通安全施設事業	647	カーブミラー等
町営住宅建設事業	85,635	二種住宅24戸分
施設		
町		
役場天中線舗装	7,300	延長 370m
江川海岸線整備	11,659	" 490m
羽立千拓線舗装	4,310	" 308m
産業の振興		
持谷地区区知総整備事業	48,100	道路工 3,535m等
農道整備事業		
出戸地区	4,775	延長 600m
上出戸地区	5,730	" 200m
下分水地区	2,865	" 459m
北野第2地区	6,685	" 580m
鶴沼台地区	4,775	" 281m
蒲沼地区	6,685	" 135m
休耕田復元事業	2,000	100ha分
良質米生産対策事業	1,728	客土 35ha分
教育施設		
天王小グランド整備事業	4,108	整地 8,366㎡
出戸小グランド整備事業	1,395	" 3,000㎡分
追分小プール建設事業	14,674	25mの6コース
追分小通学道路新設事業	4,690	延長 108m
役場庁舎前整備事業	2,963	1,940㎡

2月26日に臨時町議会

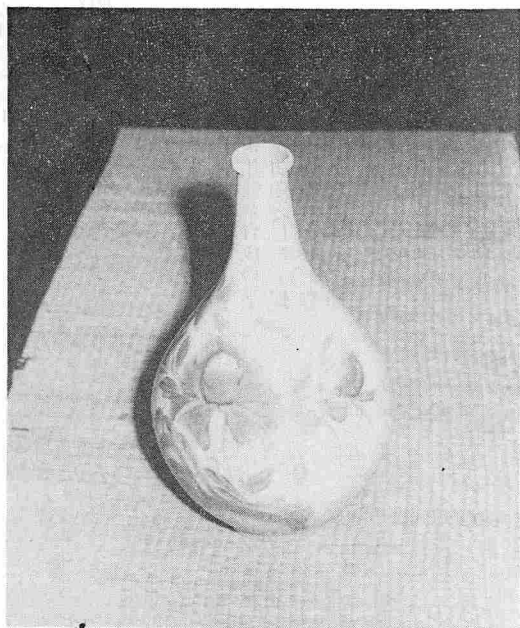
一般会計

除雪費用が大

二月二十六日に臨時町議会が開かれ、一般会計に九百七十二万一千円が追加され、総額は九億七千三百六十三万四千円になった。

この追加は、豪雪に対する除雪用の重機借上料と小学校など各施設の除雪人夫賃がほとんどを占めている。

この他に七案件が原案どおり可決された。



民具の紹介

トクリ(徳利)

酒トクリ、醤油トクリなどがあり、石油ランプの頃には油トクリもあった。写真は陶器製でガラス製もあり、一升トクリや五合トクリなどの名称もあった。トクリとビンとの区別はないようなものだが、昔のヤキモノは美しいものが多い。

ゴミは決められた日に環境を美しく



▲ゴミは決められた場所に捨てましょう

日常生活で発生するゴミの掃除や害虫の撲滅をはかり、生活環境の美化と健康な生活づくりをめざして、春先の汚れを地域ぐるみで一掃しましょう。

●建物と敷地

一、置物、敷物などは日光にさらしましょう。
二、ネズミの巣と通路などの除去や衛生害虫の発生源の除去につとめましょう。

三、下水、みぞ、汚水の溜、便所などは掃除をして消毒し、清潔にしましょう。
四、畜舎の内外を掃除しましょう。

五、ゴミや汚染物はあき地、堤防、林野などに捨てないで、決められた場所で処理しましょう。

ゴミ収集日

(週一回)

月曜日 天王(神明町の一部を除く)

火曜日 江川、兎玉、二田新町、神明町の一部

水曜日 塩口、中羽立、羽立、渋谷、塩口北野

木曜日 二田東、鶴沼台、蒲沼、細谷、下出戸、出戸新町、上出戸

土曜日 追分西、北野、追分牛坂

不燃焼物の収集日

鉄くず・ガラスなど

第一月曜日 天王、江川地区

第二月曜日 湖岸地区
第三月曜日 二田、下出戸地区
第四月曜日 出戸新町、上出戸、追分地区

午前八時までに

決められた場所に

収集車にゴミを出すときは、
①汚物、腐敗物は水分をよく切ってから、ビニール袋などに入れて出すこと
②燃える物と燃えない物は必ず区分すること
③ゴミは適当な大きさに結束すること
④ゴミは決められた曜日以外には出さないこと
⑤ゴミは午前八時まで、指定の収集所に整理して出すこと
⑥事業所や農業などから出る産業廃棄物は、各自で処理すること。
お互いにルールを守って、清潔な町づくりにご協力ください。

ガスに注意を

男鹿地区消防

LPガスの災害事故を防止するため、日常の管理を大切にしましょう。

▼融雪による、ガスポンベの転倒に注意しましょう。

▼屋外の配線の有無を確かめましょう。

▼器具やゴム管の点検、手入れも忘れずにしましょう。

▼ガス器具を設置する時は、天井、壁などの可燃物から距離をとります。

▼ガス使用後は、元栓を閉めて置きましょう。

▼ガスもれに気づいたら、取り付け業者に連絡しましょう。

環境づくりの話し合い 青少年健全育成大会

天王町青少年問題協議会の主催による「第五回青少年健全育成大会」が、去る三月七日町公民館に、関係者多数参加して行われた。

この大会は、青少年健全育成運動の現状と課題を集約し、今後の方向づけを図ることと、青少年の非行防止のため、環境の浄化をすすめることをねらいとして行われているもので、大会では、まず、これまでの実践活動を通じて優良団体や家庭の日の作文入賞者の表彰が行われ、つづいて、表彰を受けた優良団体より活動の成果と課題を中心とした事例発表や、家庭の日の作文で最優秀賞を受けた追分小

学校三年生の大久保雅子さんと東湖小学校三年生の千葉秀樹くんの発表が行われた。

また、「青少年健全育成の当面する課題」を演題とした、佐藤進先生（県立児童会館長）のユーモアをまじえた講演には熱心に耳をかたむけていた。さらにこのあと、二つの分科会にわかれ、「地域組織活動の強化を図るためにはどうあるべきか」「青少年非行の防止のため、地域環境、家庭環境づくりはどうか」というテーマで話し合いが進められた。

要性や家庭における話し合いのあり方、方法さらには親の自覚などを中心とした話し合いが進められ、これまでの学習を、より深めながら大会を終えた。

なお、この大会で表彰された団体および、家庭の日の作文入賞者は次のとおりです。

- ◎家庭の日の作文
最優秀賞
大久保雅子（追分小三年）
千葉 秀樹（東湖小三年）
- 優秀賞
三浦ひとみ（天王小六年）
嶋崎久美子（天王小六年）
鎌田 学（東湖小三年）
大庭 潤子（追分小三年）
赤羽 弘美（追分小三年）
- ◎優良団体
上出戸親子会
天王上荒町育成会
二田一区育成会
中羽立会育成会
追分中区育成会

善意がいつぱい

（三）月一日に発生した火災に際して、一町民より見舞金二千元を役場へ寄せられた。町では、町社会福祉協議会を通じて被害者へ見舞金を手渡ししました。

（二）田新町の安田典子さんは以前に捨てたお金の落し主が現われず、このほど警察から手渡されたが、その三千元を町社会福祉協議会へ寄せられた。

（農）業近代化ゼミナール（鈴木菊男会長）では、ダンスパイティーの収益五千元を町社会福祉協議会へ寄せられた。

（北）海道函館市の小杉義雄さんは、共有財産を売却した際の三万円を町育英会に寄せられた。

家庭の日

追分小三年
大久保雅子

わたしの家では、きょう年まで家庭の日には、とくべつなことはいりません。どうしてかという、おとうさんがおとめとの関係で、いないときが多いからです。

わたしは、おとうさんと、あまり話し合うことがないので、おとうさんの仕事のお話や、おとうさんの子どものころのお話も、ききたいと思います。わたしの家が、むかしから今まで、どんな人がいて、どんなところからうつつてきたのかも知りたいと思います。

この間、雪がたくさんふって学校が休みになった日、おとうさんも休みで「まんしゅう」というところのお話を、なつかしそうに話していました。おとうさんは、スケートがとてみずきで「まんしゅう」では、毎日すべっていたという事です。わたしは、こんなおとうさんの子どものころの話をして、家庭の日にきかせてくれたらなあと思います。

このまえ、みんなで学校からきた家庭の日のちらしを見て、ことしの家庭の日について、話し合いました。わたしも、おにいさんも思っていることを、おにいさんいっていました。

おにいさんは、あそぶことばかりいって、おとうさんに「家庭の日は、あそぶ日とはちがうよ」といわれました。その話し合いで、きまったことは、

- ①おとうさんの休みの日に、家庭の日をうつつてやる。
- ②まい月、一日だけは、みんなできょうりよくして、しごと

をする。

③ばんごはんのあとは、ゆつくりみんなで、おもしろかったことなど、かわりばんこにお話しをする。

④スキーとか、かいすいよくに、みんなで行く。という事です。

わたしは、わたしのいけんもとおつたので、たいへんうれしく思います。ことしは、家庭の日がたのしみです。

「家庭の日」作文コンクール 最優秀受賞作品

しようぎの日

東湖小三年
千葉 秀樹

と、心がうぎます。どんなほうほうで、おとうさんにかつてやるうか、ぼくのあたまでかんがえます。何回かやっていこううちに、おとうさんの作せいる、わかつてきたように思います。

おかあさんと妹は、はさみしようぎです。どちらもしんけん、ぼくたちがこどもであることを、わすれてかかってきま

す。とてもおもしろいことは、ときどき、おとうさんがしようぎをやっている時に、おかあさんをからかうことです。すると、おかあさんは、大きな体で、くるくるするようにわらうので、ぼくと妹は、大きな声でわらって、ころげまわります。そのときは、何もかもわすれて、とてもうれしい気持ちになります。それが、おわるとうでずもうです。このときも、いろいろな作せんをくみますが、おとうさんにはかきません。

わらいながら、みかんやおかしを食べるので、ますますおかあさんは太るようです。いままでも、しようぎをやって一回しかかきません。これから、かつ日がかならずくると思います。毎日、家ていの日があると、早くかてるのに、一カ月に一回しかないので、ほんとうにまちどおしくなりません。毎日、外であそぶので、その日は妹もぼくとあそべるので、朝からはなれません。

おかあさんは、朝からはな歌をうたいます。おかあさんも、おとうさんとすごせるのを楽しみにしているのです。あついとときは「さかなつりの日」といいます。それも楽しいことです。家ていの日は、わらってばかりいるので、楽しいゆめをみます。早くきてほしい。三日曜日。

住宅の無償払い下げ 抽選は八日に

町では、先に二田新町町営住宅の空家を払い下げするため、希望者を取りまとめたが、三月二十日で、その申し込みをしめ切った。

その結果、現在、払い下げでできる空家二十六棟に対して、百二十二人の申し込みがあり、払い下げの希望棟数は百七十七棟であった。

- ①公共施設に使用するものを優先させる。
- ②生活保護世帯等の住宅に使用するものを優先させる。
- ③払い下げを受けた者は、撤去に要する費用は本人負担。
- ④基礎等のとりこわし、あと

かたづけも行。撤去時期は、四十九年五月三十一日までとする。

⑥払い下げの棟数は、個人についてはひとり一棟とする。

⑦払い下げの決定は抽選で行う。——ことをあげており、現在申し込みをした中で、①②の優先払い下げ棟数は八棟であった。

抽選する棟数は、十八棟で、抽選者数は百十六人となり、六・四人で一棟の割合になる。抽選は、四月八日町公民館で行います。希望者は午後一時まで会場にきてください。なお、当日出席しない方は辞退したもののみなされます。



▲喜びと悲しみ、恩師と手をにぎり、別れを惜しむ

高校、社会へ 飛び立つ

天中、一九五人が卒業

さようなら……三月十四日、天王中学校（斎藤栄治校長）の二十七回目の卒業式が行われ、昨年より十人少ない百九十五人が卒業した。

前日までの雪がはれ、生活を混乱させた豪雪がうそのように春の日ざしがふりそそぐ。校庭は、若者の純真な心をあらわすかのように白一色。

思い出がいっぱいつままっている学び舎をあとに、恩師や在校生との別れを惜しみ涙ぐむ。

「お世話になりました。ガンバレヨ」先生を師とし、友として交わる現代っ子にも別れはつらい。

進学するもの、社会へ巣立つもの、手をさしのべ、手をにぎりあい、お互いに励ましあったあの力強い手を忘れることなく人生の遠い道程を歩んでいくことだろう。

～町公民館～ ●楽焼き・囲碁・謡曲など● 新会員を募集中

町公民館では、皆さんに学習の機会と場を提供しようと、今年度も楽焼き、囲碁、謡曲など十一の会員を募集しています。入会希望の方は、町公民館事務局（TEL四一一一）に申し込んでください。

後日、希望者の方々にお集りいただき、打ち合わせ会を行います。また、このような講座を開いてほしい——という希望がありましたら、合わせてお知らせください。

会員を募集している会は次のとおりです。

- ①楽焼き同好会
- ②囲碁同好会
- ③謡曲同好会
- ④読書サークル
- ⑤民謡踊り同好会
- ⑥書道教室
- ⑦スポーツ教室（バドミントン）
- ⑧農業近代化セミナー
- ⑨高齢者学級（五十五歳以上）
- ⑩青年学級
- ⑪スポーツ少年団（小、中学校）

移動文庫のお知らせ

各分館に、三十冊から四十冊の図書を用意してありますので気軽にご利用ください。

▼町長との語らいの中でも

「私の選んだ道をまつすぐ歩みます」とたくましい



たくましい社会人に 天中就職者激励会

町では、ことし天王中学校を卒業して実社会へ飛び出す生徒の激励会を三月十二日、町公民館で行った。

ことし同校を卒業、就職する生徒は二十六人。この会の中で町長は「常に自己反省と計画性を持ち、心の正しい社会人になつてほしい」と激励。これに対して、東京都に就職する菊地恵子さんは「天王中学校を卒業したことを誇りに思い、たくましい勇気のある社会人になりま」と、力強く誓った。

このあと、町長との語らいで自分が選んだ職種理由なども話し合い、その中で「父が病死し、もつと手厚い看護をしていたら長生きを……」と、進路を選んだ生徒、「働きたがらでも学校へ通えるので選びました」など、りっぱな目的を持った生徒たちの未来への歩み、たのもし限りである。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ラグビー協会 会員募集中

町ラグビー協会では、たまたま新会員を募集しています。

- 九人制バレーボール (三月十日、天王中体育館)
 - 男子 一位天王B
 - 二位二田新町
 - 三位五洋電子、天王A
 - 女子 一位秋田電子
 - 二位二田新町
 - 三位江川、ニッポ電工
- バスケットボール (三月二十四日、天王中体育館)
 - 男子 一位大崎
 - 二位天王
 - 三位江川、児玉

春の交通安全運動

希望者は役場建設課児玉まで申し込んでください。

四月六日～十五日まで
春の交通安全運動が、四月六日から十五日までの十日間行われます。

みんなで、事故防止にご協力をお願いします。

重点目標

- ◎歩行者保護、とくに子どもと老人の事故防止
- ◎自転車利用者の事故防止
- 年間スローガン

あせつてる、今があなたの赤信号【運転者向け】
止まります 待ちます車のきれるまで【歩行者向け】
きをつけよう、まいにちとおる みちだけども【子ども向け】

